



JR東労組仙台地本 FAXニュース

2018年 5月24日

NO. 81

発行: 仙台地本教宣部

JR東労組
申27号

「乗務員勤務制度の見直しについて」に関する解明申し入れ

1

JR東労組本部は、5月17日に本社より「乗務員勤務制度の見直しについて」提案を受け、仙台地本としても関係各支部及び運転職場からの声を本部交渉に反映させるべく、現在、議論を行っています。

26年間運用されてきた制度を見直す目的として、「多様な働き方と効率性」の実現を図り、業務改革や生産性の向上をもとに人口減少に伴う急速な社会・経済構造の変化等に対応していく事が示されています。しかし、示された内容を見た組合員は将来像や職場での運用を想定し「現実感が薄い」と率直な声が挙げられていることは否めない事実です。また、必要な効率性への理解は示しつつも、乗務労働・人間労働の特殊性が軽視されることを不安視する声が挙げられています。仙台地本及び中央本部もこのような現実を受け止め、会社が示した多岐にわたる「多様な働き方」「効率性の更なる追求」「働きがいの創出」、そして、賃金制度の改正も含めた見直しのスケジュールなど、現行不明瞭な点について内容を鮮明にさせる必要があると考えます。中央本部として、現行の新たな乗務員勤務制度の改正の焦点であった「効率性と働きやすさ」の精神を基礎に、「安全・健康・ゆとり・働きがい」が確保され、組合員の納得感が醸成でき得る制度を目指し、解明要求を申し入れました。この申し入れを基礎に更に職場から議論をつくり出していきたいと思います！

【概要について】

1. 現行の乗務員勤務制度における課題を明らかにすること。また、見直しを実施する根拠を示し改正の焦点を明らかにすること。
2. 乗務労働の特殊性についての会社の認識を明らかにすること。
3. 新幹線職場への適用の考えを示すこと。また、会社が考える乗務員の将来像及び、輸送サービススタッフの考えを示すこと。
4. 短時間行路を全乗務員職場に導入し、「多様な働き方と効率性」を実現できる根拠を示すこと。また、運用以降の安全や働きがいの向上についての考えを示すこと。
5. 「育児介護行路」「育児介護勤務適用者用の行路」「短時間行路」「短時間の乗務」及び「定期列車に短時間乗務」「指定された短時間行路に乗務」と異なる表現をする根拠を明らかにすること。
6. 乗務可能とする職名を明らかにすること。また、本体エルダー乗務員への適用の考えを示すこと。
7. 短時間行路の運用以降に伴う、標準数と現在員数の考えを示すこと。
8. 就業規則等の改正について示された項目以外の改正の有無について明らかにすること。

【多様な働き方の実現について】

9. 全システムにおける育児・介護勤務の活用実態及び、現行の課題を明らかにすること。
10. 事業所内保育所の設置数及び、社員の活用状況を明らかにすること。
11. 稠密線区・一般線区の短時間行路の作成の考えを示すこと。また、乗務割交番の行路と短時間行路の比率の考えを示すこと。
12. 全システムにおいて育児・介護勤務適用者における勤務制限の緩和並びに、欠在の取り扱いを導入する目的とガイドラインに対する考えを示すこと。
13. 育児・介護勤務適用者における、行路選択制の導入に伴う想定課題及び、適用者以外の社員との公平性に対する考えを明らかにすること。
14. 仮勤務作成についての課題及び、勤務作成者への負担増に対する考えを明らかにすること。
15. 行路選択者の希望の把握方法及び、競合した際の優先事由を明確にすること。
16. 乗務員の指導等を行う社員を具体的に示すこと。また、見直し以降の指導担当の使命、指導業務の内容の変化について明らかにすること。
17. 現在員配置の考えを示すこと。また、現行の指導業務における課題を明らかにし、本線乗務機会を拡大することにより安全性が向上する根拠を示すこと。